

## 第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(28年度)

### 柱1 新鮮で安全安心な農畜産物の安定供給

#### 1 生産性の向上

#### 施策1－営農指導の充実 主担当:農業生産振興課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(1) 営農指導巡回回数	291回/年	698回/年	450回/年		420回/年	107.1%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
<b>1 生産現場における課題解決の迅速化</b> <計画期間の取組内容> 現場での営農指導による課題解決の迅速化を図るため、専任アドバイザーを設置します。	<b>取組状況</b> ・生産者からの病害虫指導等の要請に対し、迅速に対応した。 ・生産現場において、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断を行った。 ①物理性診断 計38箇所 ・専任アドバイザーによる職員向けの講習会を開催し、広域連携として市原市職員も参加した。 ①土と肥料に関する講習会 計11回 ②市原市職員参加者数 2人			B	<b>取組内容</b> ・生産者からの要請に対し、迅速に対応する。 ・専任アドバイザーによる土壌の物理性診断を行う。 ・職員のレベルアップを図るため、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断に係る実地研修や、職員向けの講習会を行う。	
<b>2 計画的な農家への巡回指導</b> <計画期間の取組内容> 農家が抱える問題を解決し、生産性の向上を図るため、毎年営農指導計画書を作成し、計画的に営農指導を実施します。	<b>取組状況</b> ・平成28年度営農指導計画を策定し、計画的に営農指導を実施した。				B	<b>取組内容</b> ・平成29年度営農指導計画を策定し、計画的に営農指導を実施する。

施策2—技術開発の推進 主担当:農業生産振興課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(2) 新規種苗供給品目数	—	0品目	0品目		2品目	0.0%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
3 優良後継牛の確保支援  <計画期間の取組内容> 乳牛の生乳生産性を向上させるため、性判別精液や受精卵の活用による優良後継牛の確保支援を行います。	特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合) 乳用雌牛の自家生産の必要性は高いが、酪農家数の減少や、経費負担感から性判別精液や受精卵を活用する農家が少なかった。			C	課題(Cの場合) ・優良後継牛確保対策事業のさらなる周知を行う。 ・事業目的の丁寧な説明と事業の活用推進を行う。	
	取組状況 ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援した。 ①性判別精液の購入 6戸 ②受精卵の購入 2戸 (補助対象酪農家数 35戸) ・優良後継牛確保対策事業の周知を図った。 ①周知 周年(文書及び巡回)				取組内容 ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援する。 ・優良後継牛確保対策事業の周知を図る。 ①周知 通年(文書及び巡回)	
4 農業経営に有望となる種苗の供給  <計画期間の取組内容> 千葉市での農業経営に適した農作物の種苗を供給するため、大学と協力し、優良な種苗の開発を推進します。	取組状況 ・新たに供給するニンニクの系統を選抜するため、ウイルスフリー化した検体での栽培試験を行い、データを蓄積した。 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の系統の供給を行い、経営の安定や産地化を図った。 ①供給品目数 4品目 8系統			B	取組内容 ・新たに供給するニンニクの系統を決定するため、栽培試験の結果により選抜を行うとともに、生産現場での試験を行う生産者を選定する。 ・洋ラン(ムラサキノウスヨウ“紫苑”)の苗供給を開始する。 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の系統の供給を行い、経営の安定や産地化を図る。 ①供給品目数 5品目9系統	

施策3—生産コストの低減 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
5 生産近代化機械施設の整備促進  <計画期間の取組内容> 生産性の高い農業経営を確立し、エンジンなどの主要品目の産地を維持するため、認定農業者や生産組合等に対する機械施設整備を促進します。	取組状況 ・乗用管理機、イチゴ高設栽培施設を導入した。 ①乗用管理機 1経営体 ②イチゴ高設栽培施設 2か所			B	取組内容 ・生産性の高い農業経営体を育成するため、従来の施策に加え、国の産地パワーアップ事業を活用し、作業の効率化や省力化を図る農業用機械施設の整備を進める。 ・大型トラクター、収穫機、調整機など省力化機械の導入を促進する。 ・施設や養液栽培装置の導入を促進する。	

施策4—計画的な生産出荷体制の整備 主担当:農業生産振興課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(3) トマト施設栽培農家戸数	19戸 (23,678㎡)	19戸 (24,830㎡)	21戸 (29,870㎡)		21戸 (25,678㎡)	100.0% (96.7%)
(4) イチゴ高設栽培農家戸数	15戸 (26,268㎡)	16戸 (26,928㎡)	18戸 (28,926㎡)		17戸 (28,268㎡)	105.9% (95.3%)
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
<p>6 イチゴ・トマトを主軸とした生産支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 千葉市の都市農業を特色あるものにするため、イチゴとトマトを主軸とした生産技術支援を強化します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イチゴ新品種「千葉S4号(チーバベリ-)」の育苗方法等に関する栽培試験を行った。</li> <li>大玉トマト及びミニトマトの袋培地栽培による品種比較試験を、みかど協和(株)と連携し実施し、本市に適した品種の選定を進めた。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>			B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イチゴ新品種「千葉S4号(チーバベリ-)」の育苗方法等に関する栽培試験を引き続き実施する。</li> <li>大玉トマト及びミニトマトの袋培地栽培による品種比較試験を、みかど協和(株)と連携し実施し、本市に適した品種の選定を進める。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>	

施策5—価格安定化対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の取組状況	評価	29年度以降の取組内容
<p>7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業経営の安定と生産意欲の向上を図り、市内市場に新鮮な野菜を計画的に供給するため、野菜価格が低落した時、千葉市野菜価格安定対策協議会に対し、補償金を交付します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市野菜価格安定対策協議会が農業者に対して支払う補償金、並びに、国や県の野菜価格安定対策制度に参加する生産者の参加負担金に対して助成した。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ他) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン他)</p>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市野菜価格安定対策協議会が農業者に対して支払う補償金、並びに、国や県の野菜価格安定対策制度に参加する生産者の参加負担金に対して助成する。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目(イチゴ他) ②野菜生産出荷安定 6品目(春夏ニンジン他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉市野菜価格安定対策については、対象とする品目や期間について検討し、次期3か年計画(H30~32)を策定する。</li> </ul>

施策6—適切な肥培管理の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の取組状況	評価	29年度以降の取組内容
<p>8 土壌診断による施肥設計の作成支援</p> <p>(計画期間の取組内容) 過不足のない適正な施肥による生産性の向上を推進するため、農家の土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援した。</li> </ul> <p>①土壌診断 607検体 ②養液診断 419検体 ③堆肥 6検体 合計 1,032検体</p>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援する。</li> </ul> <p>①土壌診断 795検体 ②養液診断 445検体 ③堆肥等 60検体 合計 1,300検体</p>

## 2 地産地消の推進

### 施策7—市内産農畜産物の販売機会の創出 主担当:農政課

数 値 目 標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目 標 (29年度)	達成率
(5) 市内産農畜産物取扱店舗数 (地産地消推進店登録数)	63店舗 —	66店舗 (0件)	80店舗 (0件)		83店舗 (20件)	96.4% (0.0%)
(6) 地場産品レストラン認定数	—	0件	0件		2件	0.0%
主 要 事 業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
9 多様な販売ルートの確立  <計画期間の取組内容> 多様な販売ルートを確立するため、販売店やレストラン等との交流会・産地見学会等を行うとともに、地産地消推進店登録制度等を創設します。	<b>取組状況</b> ・市内飲食店での市内産農産物の活用を促進するため、流通段階での課題解決に取組み、生産者と飲食店と消費者を繋げる「千葉市つくたプロジェクト」を立ち上げた。 ・取組みを通じて、飲食店における農産物の調達方法が増えた。 ・農業振興地域での農家レストランの開設を促進するため、開設者要件を緩和した（認定農業者→農業者）。 ・幼稚園ふれあい市の実施園数を増やした 2園→3園			B	<b>取組内容</b> ・「千葉市つくたプロジェクト」を推進するため、検討委員会を母体とした、協議会の設立を検討する。 ・地産地消に積極的に取り組む飲食店、食品卸事業者、直売所を推進店として登録する制度を創設し、PRを行う。 ・産地見学会、交流会を開催し、消費者も含めた顔の見える関係を構築する。 ・農家レストラン開設を支援するセミナーを開催する。	

### 施策8—学校給食での市内産農畜産物の利用拡大 主担当:農政課

主 要 事 業	28年度の取組状況	評価	29年度以降の取組内容
10 学校給食等での利用拡大  <計画期間の取組内容> 市内産農産物の利用拡大を図るため、小中学校や保育所等の給食に食材を供給するとともに、料理講習会を開催します。	<b>取組状況</b> ・教育委員会、JA千葉みらい、千葉青果(株)等の関係機関と、新たな品目の導入について検討したが、市内全域の小中学校に供給できる数量確保等に課題があり、新たな品目の導入には至っていない。 ・生産者と調整を行い、7品目を供給した。(ニンジン、キャベツ、コマツナなど) ・市内農産物を活用した料理講習会を実施した。 ①実施回数 2回(土気からし菜、いももち)	B	<b>取組内容</b> ・関係機関と連携し、市内産農産物の学校給食への導入に取り組む。(8品目) ・農業に関する意識を醸成するため、市内産農産物の生産状況等について学校へ情報発信する。 ・市内農産物を活用した料理講習会を実施する。 ①実施回数 2回(土気からし菜、いももち)

施策9－食と農の理解の促進 主担当：農政課

主要事業	28年度の取組状況	評価	29年度以降の取組内容
11 出張授業・地産地消キャンペーンの実施  <計画期間の取組内容> 市内産農産物や農業に対する理解促進と、消費拡大を推進するため、小学校での生産者出張授業や地産地消キャンペーンを実施します。	<p>☞特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酪農家及び千葉酪農協の協力により、牛乳の出張授業を1回から2回に追加開催した。</li> <li>これにより、全6区で各1校計6校開催することができた。</li> </ul> <p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学3年生を対象に、6校で5品目の出張授業を実施した。</li> <li>①春夏ニンジン 6月</li> <li>②牛乳 9月</li> <li>③キャベツ 11月</li> <li>④コマツナ 12月</li> <li>⑤秋冬ニンジン 1月</li> <li>⑥牛乳 2月(追加)</li> <li>出張授業で使用する資料を見直し、児童の理解度を向上させた。</li> <li>市内産農産物のPRや展示販売等を行う地産地消キャンペーンを実施した。</li> <li>①地産地消キャンペーン 10回</li> </ul>	A	<p>☞課題(Cの場合)☞</p> <p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学3年生を対象に、出張授業を6校で実施する。</li> <li>新たな出張授業の品目として、コメの授業用資料を作成する。</li> <li>市内産農産物のPRや展示販売等を行う地産地消キャンペーンを実施する。</li> <li>①地産地消キャンペーン 10回</li> </ul>

施策10－食の安全と消費者の信頼の確保 主担当：農政課

数値目標	現状(25年度末)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	目標(29年度)	達成率
(7) 千葉市産農産物生産認証者数	182人	184人	181人		200人	90.5%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
12 千葉市産農産物生産者認証制度の充実  <計画期間の取組内容> 生産者と消費者の顔の見える農業を実現するため、直売志向の生産者への認証(新規及び再認証)を推進するとともに、認証者へのシンボルマークの貼付啓発と消費者へのPRにより認知度向上を図ります。	<p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認証者を対象にした講習会に新規就農者等の出席を働きかけ普及啓発を行った。</li> <li>①認証者数 181人(再認証9人)</li> <li>②認証者のうち新規就農者数 10人</li> </ul>			B	<p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直売所・インショップへの出荷者及び新規就農者を中心に、認証候補者の情報収集を行うとともに、普及啓発を行い、新規認証を増やす。</li> <li>更新時期を迎えた認証者に継続を働きかけ、再認証へ誘導する。</li> <li>認証制度を様々な機会を通じPRするとともに、消費者に分かりやすい認証者マークの活用方法について検討する。</li> </ul>	

## 第2次千葉市農業推進行動計画・進行管理票(28年度)

### 柱2 安定した農業経営体の育成

#### 3 優良農地の確保と有効利用

##### 施策11－優良農地の適正管理 主担当:農政課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<b>13 農業振興地域制度の周知</b>  <計画期間の実施内容> 農業振興地域内の農用地区域の保全を図るため、パンフレット等で農業振興地域制度の周知を行います。	<b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>問い合わせのあった事業者等に対応する、わかりやすいパンフレットへの改善を図るとともに、窓口用の農用地区域の確認書を改訂した。</li> <li>市政日より(7/15号)に制度の概要を掲載し、周知を図った。</li> <li>関係部署(宅地課等)と連携し、事業者への周知を行った。</li> </ul>	<b>B</b>	<b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農用地区域での開発を計画する事業者等にパンフレット等により制度の説明を行う。</li> <li>農用地区域の除外について、除外要件や手続きの流れをわかりやすく示したパンフレットを改訂する。</li> <li>H29年度から農業振興地域整備計画の全体見直しを行うため、除外受付等の一時凍結を周知する。</li> </ul>

##### 施策12－生産基盤の整備 主担当:農政課、農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<b>14 農業用排水対策事業の推進</b>  <計画期間の実施内容> 農業経営の安定化を図るため、北総中央用水の利活用を推進します。また農業生産性の向上のため、土地改良区等に対して井戸揚水機の電気料を補助します。	<b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北総中央用水の利活用の推進を実施した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地元との懇談会 10回</li> <li>②先進地視察 1回</li> <li>③基本計画策定業務委託 4,212千円</li> </ul> </li> <li>井戸ポンプの電気料を一部助成した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象団体数 33団体</li> <li>②補助金額 7,107千円</li> </ul> </li> </ul>	<b>B</b>	<b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>北総中央用水の利活用の推進を実施する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地元との懇談会等 8回</li> <li>②事業採択申請書作成委託 8,000千円</li> </ul> </li> <li>井戸ポンプの電気料を一部助成する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①対象団体数 33団体</li> <li>②補助金額 7,000千円</li> </ul> </li> </ul>
<b>15 農道舗装整備の推進</b>  <計画期間の実施内容> 農業生産性の向上と農村生活環境の改善を図るため、緑農住区開発関連土地基盤整備事業による道路の舗装整備を行うとともに、農業用道路の舗装整備を行います。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑農住区の道路整備については、入札不調により未実施。</li> </ul> <b>取組状況</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農道の舗装整備を実施した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備箇所 1箇所(若葉区高根町)</li> <li>②整備延長 243m</li> </ul> </li> <li>緑農住区の道路整備 未実施</li> </ul>	<b>C</b>	<b>課題(Cの場合)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は、28年度と29年度の事業量を合わせた整備予算を確保していることから、平成28・29年度分を一括して工事発注する。</li> </ul> <b>取組内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農道の舗装整備を実施する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備箇所 1箇所(緑区板倉町)</li> <li>②整備延長 150m</li> </ul> </li> <li>緑農住区の道路整備を実施する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備延長 155m</li> <li>②その他の整備 ボックスカルバート敷設 1箇所</li> </ul> </li> </ul>

施策13－農地の集積と活用の促進 主担当:農政課

主要事業	28年度の取組状況	評価	29年度以降の取組内容
16 利用権設定者に対する支援  ＜計画期間の取組内容＞ 農地の利用集積を促進するため、利用権が設定された農地の貸付者、借受者に対して補助金を交付します。	<b>取組状況</b> ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について、期間や面積に応じて助成した。 ①件数 26件 ②対象面積 11.8ha ・また、農地中間管理事業により、土地改良区を中心に農地の利用集積を進めた。 ①地区 平川及び板倉大権土地改良区	B	<b>取組内容</b> ・4つの農地の貸し借り方法のパンフレット及び農地の貸し借りのYes-Noフローチャートにより事業を周知し、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について助成する。

施策14－耕作放棄地の解消と利活用の推進 主担当:農政課、農業生産振興課

数値目標	現状(28年度末)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	目標(29年度)	達成率
(8) 営農再開面積	6.0ha	7.4ha	7.9ha		8.8ha	89.8%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
17 耕作放棄地の未然防止と利用促進  ＜計画期間の取組内容＞ 耕作放棄地の未然防止及び解消を促進するため、大型草刈機の貸し出しを実施することにより農地の保全や適性利用を進めるとともに、遊休農地情報を公表し、利用希望者とのマッチングを行います。	<b>取組状況</b> ・耕作希望者に耕作放棄地の情報を提供し、「耕作放棄地整備事業」を活用して再生利用を促進した。 ①解消件数 1件 ②解消面積 0.54ha ・遊休農地を含む農地情報を農業委員会、JAと共有。 ・大型草刈機を貸し出し ①利用戸数 29戸 ②利用面積 1,397a			B	<b>取組内容</b> ・関係機関で組織する「地域農業振興部会」により、マッチングにつながる情報を収集する。 ・市の補助事業等を活用し再生利用を促進する。 ①解消面積 0.7ha	

4 意欲ある担い手の確保・育成

施策15－認定農業者の育成 主担当:農業経営支援課、農業生産振興課

数値目標	現状(25年度末)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	目標(29年度)	達成率
(9) 新規認定農業者数	6経営体/年	3経営体/年	7経営体/年		10経営体/年	70.0%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
18 農業経営改善計画の作成・達成支援  ＜計画期間の取組内容＞ 農業経営を改善するため、農業経営改善計画の作成を支援するとともに、計画達成に向け生産技術・経営管理の指導を行います。また、新規就農者や新規参入法人向け相談会の開催や広報誌を活用した制度の周知を行います。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・認定志向農業者の掘り起しに努めているが、対象者が少ない。  <b>取組状況</b> ・認定志向農業者と既認定者の農業経営改善計画書の作成を支援した。 ①計画書作成支援 47経営体 ・訪問指導等により「新たな農業経営指標」に基づく自己チェックの普及に努めた。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・認定水準到達が見込まれる認定志向農業者の掘り起しが課題である。  <b>取組内容</b> ・関係機関との連携により認定志向農業者の掘り起しに努め、認定農業者へ誘導していく。 ①計画書作成支援 39経営体	

施策16—新たな担い手の確保・育成 主担当:農業経営支援課、農地活用推進課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(10) 新規就農者数	7人/年	2人/年	10人/年		10人/年	100.0%
(11) 後継者向け研修の受講者数	65人	89人	99人		117人	84.6%
(12) 「人・農地プラン」策定地区数 (中心経営体数)	3地区 (16経営体)	3地区 (22経営体)	5地区 (29経営体)		13地区 (27経営体)	38.5% 107.4%
(13) 農業版ハローワーク雇用・ポランティア成立件数	358件	384件	391件		398件	98.2%
主 要 事 業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
19 「人・農地プラン」による地域農業の活性化  <計画期間の取組内容> 担い手不足や耕作放棄地の増加など、地域における人と農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」の細分化とともに、農地中間管理事業等を活用し、地域農業の活性化を推進します。	<b>取組状況</b> ・緑区において、「人・農地プラン」の細分化地区を設定した。 【細分化地区】2地区（板倉・大椎、平川） ・全3地域の「人・農地プラン」について内容見直しを行った。 【地域話し合い回数】3回 【細分化地区話し合い回数】4回 【中心経営体（新規）】7経営体			B	<b>取組内容</b> ・地域特性を活かした土地利用計画により、細分化地区の設定を積極的に進め、地域の安定した経営に資するプランづくりを目指す。 ・新たな地域の中心となる経営体の追加を推進する。	
20 新規就農者等の確保・育成  <計画期間の取組内容> 農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者、農家で働きたい人に対し、研修や営農指導等を行うとともに、農業後継者に対し支援します。	<b>取組状況</b> ・新規就農希望者研修や営農指導等により新規就農者等の確保と支援を行った。 ①研修受講者数 9人 （1年目4人、2年目1人、3年目4人） ②巡回指導 12回 ・青年就農給付金を給付した。 ①給付人数 19人 ②給付総額 2,475万円				B	<b>取組内容</b> ・これまでの周知方法に加え、近隣の農業系・経営系大学への訪問PR等を行い、新規就農者を確保・育成する。 ①研修受講者数 10人 （1年目5人、2年目4人、3年目1人） ②巡回指導 12回 ・農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）を交付する。 ①給付人数 25人 ②給付総額 3,113万円

施策17—「家族経営協定」の推進 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(14) 家族経営協定締結件数	20件	23件	25件		28件	89.3%
主 要 事 業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
21 家族経営協定の普及  <計画期間の取組内容> 女性農業者や後継者の経営参画のため、家族経営協定を普及します。	<b>取組状況</b> ・女性農業者や後継者の経営参画のため、関係機関と連携し、家族経営協定の締結に結びつけた。 ①新規締結件数 3件 ②協定取下げ件数 1件			B	<b>取組内容</b> ・女性農業者や後継者の経営参画を促進するため、引き続き関係機関と連携し、家族経営協定の普及を推進する。 ①新規締結件数 2件	

施策18－農業経営体の法人化への推進 主担当：農業経営支援課

主要事業	28年度の実績	評価	29年度以降の取組内容
<p>22 認定農業者等の法人化への誘導</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 認定農業者等の法人化を推進するため、関係機関と連携し講習会を開催するなど法人化を促進します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者や農業後継者を対象に、農業部門に関わる企業の担当者を講師に招き、講習会を開催した。</li> <li>①講習会開催数 1回（11月）</li> <li>②法人化数（新規） 1経営体（株オスミックアグリ千葉）</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会や県農業会議と連携し、認定農業者等の法人化を支援する。</li> <li>①講習会開催数 1回</li> </ul>

5 農家所得の向上

施策19－6次産業化の推進 主担当：農政課

数値目標	現状(25年度末)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	目標(29年度)	達成率
(15) 6次産業化の認定件数	2件	3件	3件		4件	75.0%
主要事業	28年度の実績			評価	29年度以降の取組内容	
<p>23 6次産業化の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 6次産業化を目指す生産者の計画策定及び計画達成のため、認定志向農業者への巡回指導や、関係機関との連携により情報提供等の支援を行います。</p>	<p>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27年に農業参入したNPOが6次産業化の認定取得を計画していたが、特異な栽培方法のため、農業生産の実績が上がらず、認定されなかった。</li> <li>認定取得者が6次産業化ネットワーク交付金を活用し、農家レストランの開設を計画しているが、開発に必要な要件等が整わず、計画実施に至っていない。</li> </ul>			C	<p>課題(Cの場合)</p> <p>6次産業化ネットワーク交付金は、県及び市町村を通じて交付されるため、計画内容や取組方法等について詳細な計画立案への支援が必要である。</p>	
	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPOが6次産業化の認定を新たに取得し、自ら生産した農産物を加工する取り組み計画をしていたが、農業生産の実績が上がらず、認定が取得できず計画実施を見送った。</li> </ul>				<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPOの動向について把握し、必要に応じて支援する。</li> <li>農家レストランの開設を計画する6次産業化認定者についての動向を把握し、必要に応じて支援する。</li> <li>関係機関と連携し、6次産業化認定志向者の情報を把握し、県園芸協会と連携し支援する。</li> </ul>	

施策20－販路拡大の支援 主担当：農政課

主要事業	28年度の実績	評価	29年度以降の取組内容
<p>24 トップセールス等の活用</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 市内はもとより、市外・県外への情報発信により販路拡大を推進するため、トップセールスを活用します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを通じトップセールスを行った。</li> <li>①イチゴ 4月</li> <li>市原市、四街道市との3市連携の取り組みとして、ハッピースイーツ製菓専門学校の卒業制作やそごうでの千産千消フェアに共同参加し、各市と連携したトップセールスを行うことでPR効果を高めた。</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の農産物を市内外へPRするため、イベント等を通じトップセールスを行う。</li> <li>①畜産物 4月（千葉市フェア）</li> <li>3市連携の取り組みを継続的に行い、ブランド化に取り組む農産物等のPRを行う。</li> </ul>

施策21－千葉市ブランドの確立 主担当:農政課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>25 加工品開発及びブランド化の支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 伝統野菜等の発掘を行い、ブランド化を図るため、加工・販売等について支援します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統野菜の土気からし菜及び伝統料理「いももち」を普及するため、料理教室を開催した。</li> <li>「いももち」教室 11月 1回</li> <li>土気からし菜漬物教室 2月 1回</li> <li>・土気からし菜の種子の活用として料理教室を開催した。</li> <li>千葉あそびマスタードづくり 9月 4回</li> <li>・土気からし菜の生産者のグループを組合化し、生産を継続する体制を整えた。</li> <li>・全小学生に配布する食育情報誌（健康支援課作成）において、「いももち」を紹介した。</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土気からし菜といももちの料理教室を開催する。</li> <li>「いももち」教室 11月 1回</li> <li>土気からし菜漬物教室 2月 1回</li> <li>・飲食店等に土気からし菜のPRを行い、販売を促進する。</li> </ul>

6 環境にやさしい農業の推進

施策22－健全な土づくりの推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>26 環境保全型農業の実施への支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業分野の地球温暖化防止や生物多様性保全のため、事業に実施する農家に対し、交付金により支援します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の環境保全型農業直接支払対策事業への支援を行った。</li> <li>・農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行った。</li> <li>①直接支払実施面積 54a</li> <li>②廃プラ処理量 24.8t</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の環境保全型農業直接支払対策事業への支援を行う。</li> <li>・農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行う。</li> <li>①直接支払実施面積 300a</li> <li>②廃プラ処理量 28t</li> </ul>
<p>27 土壌診断の充実</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 土壌診断を充実させ、健全な土づくりを推進するため、診断の迅速化と精度向上を図ります。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断を充実するため、リン酸分光光度計およびPH・EC計の導入整備を行った。</li> <li>・分析の作業手順を見直し、診断の迅速化を図った。</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断の精度を保つため、必要な機器の更新を行う。</li> <li>・分析の作業手順を見直し、診断の精度向上と迅速化を図る。</li> </ul>

施策23－家畜排せつ物の適切な管理 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>28 家畜排せつ物処理状況の巡回指導</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 家畜排せつ物の適正処理を推進するため、畜産農家に対し、排せつ物処理状況の巡回指導を実施します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施した。</li> <li>①巡回 通年</li> <li>②適正処理指導 6件</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施する。</li> <li>①巡回 通年</li> </ul>

**施策24－堆肥の有効利用** 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>29 耕畜連携による堆肥利用の促進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 堆肥の有効利用を推進するため、耕種農家に対し、家畜堆肥の情報を提供し利用を促進します。</p>	<p>☞<b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、堆肥利用希望農家に対し情報提供を行った。</li> <li>①情報提供 通年</li> </ul>	B	<p>☞<b>実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、巡回指導を通じて耕種農家に情報提供する。</li> <li>①情報提供 通年</li> </ul>

**施策25－減農薬の推進** 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>30 大学との天敵の共同研究</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 減農薬を推進するため、市内の土着天敵を調査し、有効活用について大学と共同研究を実施します。</p>	<p>☞<b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉大学との共同研究の成果に基づき、農政センターの周辺において、天敵の生息調査を行った。</li> <li>・4月～10月 計4回</li> </ul>	B	<p>☞<b>実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農政センター内や、市内の生産圃場において天敵昆虫の生息調査を行う。</li> <li>・より有効な天敵昆虫を探索し、利用の可能性について模索する。</li> </ul>

# ■千葉市農業推進行動計画・進行管理票(28年度)

## 柱3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

### 7 都市と農村の交流促進

#### 施策26－いずみグリーンビレッジ事業の推進 主担当：農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(16) 都市農業交流センター来訪者数	171,048人/年	190,876人/年	192,134人/年		190,000人/年	101.1%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
31 いずみグリーンビレッジ構想の拠点地域の活性化  <計画期間の取組内容> いずみ地区の更なる活性化を図るため、3拠点が連携したPR活動を行うとともに、地域資源を活用した新たな活性化策に取り組みます。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・イベントや体験教室の開催、市政だよりや市ホームページを活用したPRにより各拠点施設が認知され来訪者数の目標を上回った。 ①市政だよりでの掲載記事数 13件 ②市ホームページの更新回数 10回 ・千葉大学と連携し、愛称(富田・中田)とロゴマーク(3拠点)を決定した。			A	<b>課題(Cの場合)</b>	
	<b>取組状況</b> ・いずみ地区の3拠点施設の連絡会議を開催した。 ①連絡会議開催数 2回(7月、3月) ・野呂地区において泉自然公園を利用した農作物の直売会や農政センターでの市民農園養成講座を実施した。 ①直売会開催数 1回(11月)				<b>取組内容</b> ・いずみ地区の3拠点施設連絡会議を開催する。 ①連絡会議開催回数 2回 ・野呂地区での催しや講座を実施する。 ①直売会開催回数 1回	

#### 施策27－農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園) 主担当：農政課、農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(17) 市民農園・農業体験農園数	35箇所	40箇所	40箇所		44箇所	90.9%
(18) 観光農園バリアフリートイレ設置数	7箇所	9箇所	9箇所		11箇所	81.8%
主要事業	28年度の取組状況			評価	29年度以降の取組内容	
32 市民農園等の整備及び利用の促進  <計画期間の取組内容> 市民が気軽に農業に親しめる場を提供するため、市民農園・農業体験農園・観光農園の整備を促進するとともに、市ホームページ、市政だよりによるPRに加え、市民農園養成講座の開設及び動画配信により、市民農園等の利用を促進します。	<b>取組状況</b> ・農園開設を希望する地権者からの相談に応じ、新規開設に向け支援した。 ・利用率の低い市民農園へ活用支援アドバイザーを派遣し、市民農園の活用を促した。 派遣回数 2回(6,10月)、派遣農園2園 ・観光農園や直売所の利用を増やすため、写真撮影用の看板を配布し、SNSへの発信を利用者に促した。			B	<b>取組内容</b> ・市民農園が少ない地域での新たな農園開設を支援する。 ・市民農園養成講座を開催し、市民農園利用者の確保を促進する。 ・観光農園利用者自らSNSで情報発信してもらえるような取組を実施する。	

施策28—教育現場での農業の活用 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(19) ワークショップの開催数	8回/年	9回/年	2回/年		10回/年	20.0%
主 要 事 業	28年度の取組状況			評 価	29年度以降の取組内容	
33 小中学生が農業と親しむ機会の創出  <計画期間の取組内容> いずみ地区の自然環境・歴史・伝承文化等の地域資源を伝えるため、次代を担う地域の小中学生を対象に、ワークショップを行います。また、いずみ地区の魅力を広く知ってもらうため自然観察会、歴史探索会などを実施します。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・対象中学校2校へグリーンビレッジ協力を派遣する計画であったが、うち1校については、協力員の派遣が無くてもワークショップを独自に開催する体制が整ったことから、28年度は派遣を行わず、開催回数が減となった。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・現在、別途学校主体でのワークショップが行われており、業務の見直しが必要である。	
	<b>取組状況</b> ・いずみ地区内の自然・歴史・文化・景観等の地域資源を活かし、地域の中学生（総合学習）を対象にワークショップを開催した。 ①更科中学校 歴史調査 2回				<b>取組内容</b> ・いずみ地区内の中学生を対象とした総合学習でワークショップを開催する。 ①更科中学校 歴史調査 3回	

施策29—情報の提供 主担当:農政課

主 要 事 業	28年度の取組状況	評 価	29年度以降の取組内容
34 市民への情報発信  <計画期間の取組内容> 「農とふれあう場」を提供するため、農に親しみたい人へ、積極的に旬の情報や各種イベント情報等を提供します。	<b>取組状況</b> ・作物の季節に合わせ、市政だよりの活用やホームページの適宜更新により、情報を発信した。 ①市政だよりの掲載記事数 24件 ②市ホームページの更新回数 7回 ・記者への記事投げ込みを積極的に行い、各種メディアを通じ情報発信につなげた。 ①投げ込み回数 6回 ・市内高校映像部の協力により、観光農園の魅力伝える動画を製作し、ホームページに掲載した。	B	<b>取組内容</b> ・市政だよりの活用、市ホームページの適宜更新により、情報を発信する。 ・記者への記事投げ込みを積極的に行い、各種メディアを通じ情報発信につなげる。

8 農村環境の整備と保全

施策30—快適な農村環境の整備 主担当:農政課

主 要 事 業	28年度の取組状況	評 価	29年度以降の取組内容
35 農村の水環境の保全  <計画期間の取組内容> 農業生産の向上、公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業を継続します。	<b>取組状況</b> ・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行った。 ①杉山地区 1.2ha ②大池地区 2.2ha	B	<b>取組内容</b> ・ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行う。 ①杉山地区 1.2ha ②大池地区 2.2ha

施策31－美しい農村景観づくり 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>36 景観形成作物の取組に対する支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ハナナ・コスモス等の景観形成作物に取組む農家に対し、種子を配布します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ヒマワリ、コスモス、ハナナ等の景観形成作物の種子を取組農家へ配布した。</li> <li>①取組面積 1,001a</li> <li>②取組農家・組合数 20戸</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ヒマワリ、ハナナ、コスモス等の景観形成作物の種子を取組農家に配布する。</li> <li>①取組面積 1,000a</li> </ul>

施策32－集落機能の維持 主担当:農政課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>37 集落保全活動の維持・支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の活動に参加する組織に対して支援を行うとともに、新たな活動組織の掘り起しを行います。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6地区に対し、活動の継続を支援した。</li> <li>①説明会・意見交換会 2回（7月、1月）</li> <li>②安全研修会 1回（2月）</li> <li>③活動の手引き送付 2回（10月、1月）</li> <li>④現地確認 2回（10～11月、2月）</li> <li>⑤個別相談 随時</li> <li>⑥新規地区支援 9月</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7地区に対し、活動を支援する。（1地区追加予定）</li> <li>3期目（平成29年度～）の活動に向け、新規活動組織の掘り起しと説明を行う。</li> <li>①活動組織及び新規活動組織説明会</li> <li>②個別相談</li> <li>③現地確認</li> </ul>

施策33－有害鳥獣対策の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>38 有害鳥獣対策の支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 安定した農産物生産を実現するため、ハクビシン・イノシシ・カラス等の有害鳥獣対策を支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種対策に係る経費を助成した。</li> <li>①助成対象</li> <li>ハクビシン捕獲活動（市内全域） 箱わな設置 23基 捕獲 14頭</li> <li>イノシシ捕獲活動（緑区） 箱わな設置 10基 捕獲 7頭</li> <li>電気柵設置 1,620m</li> <li>カラス追い払い対策（市内全域） 猛禽による追い払い 2回</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県鳥獣被害防止計画に基づき、千葉県鳥獣被害防止対策協議会で取り組むハクビシン、イノシシ及びカラスの被害防止対策の活動経費を助成する。</li> </ul>

9 健全な森林づくりの推進

施策34－優良な森林の整備推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>39 市森林整備計画の実行・推進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 適切な森林整備を推進するため、市森林整備計画に基づく各種事業を実施します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営計画を認定した。</li> <li>①森林経営計画認定数 1件</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①千葉県森林整備計画の見直し（5年ごとの見直し）</li> <li>②森林経営計画認定数 1件</li> </ul>

施策35—価値ある森林づくりの推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実績状況	評価	29年度以降の実績内容
<p>40 森林の適正管理及び木材利用の推進</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林環境を保全するため、間伐や枝打ち、下草刈等を促進するとともに、ボランティア団体の活動を支援します。また、循環型社会の形成、林業・木材産業の振興、森林再生を促進するため、県内産の木材利用を推進します。</p>	<p>④取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業に対して助成した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①造林 0.93ha</li> <li>②下刈 10.63ha</li> <li>③枝打 5.0ha</li> <li>④間伐 1.46ha</li> <li>⑤間伐材搬出 8.0m<sup>3</sup></li> </ul> </li> <li>新庁舎への木材利用促進について、関係部署に依頼した。</li> </ul>	B	<p>④取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業に対して助成する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①造林 1.5ha</li> <li>②下刈 16.0ha</li> <li>③枝打 2.30ha</li> <li>④間伐 1.3ha</li> </ul> </li> <li>市内関係部署と協議していく。</li> </ul>

施策36—森林病虫害対策の推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実績状況	評価	29年度以降の実績内容
<p>41 被害森林再生・資源循環促進事業への支援</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 病虫害や気象災害による被害林の再生及び資源循環促進のため、各種事業に取り組む森林組合等に対し支援します。</p>	<p>④特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象災害による倒木・幹折れ等の激しい被害の発生が少なかったため、事業実施面積が減少した。</li> </ul> <p>④取組状況</p> <p>被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①伐倒搬出 0.12ha</li> <li>②植栽 0.11ha</li> </ul>	C	<p>④課題(Cの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施希望面積の把握に努め、当該事業の活用を進める。</li> </ul> <p>④取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①伐倒搬出 0.22ha</li> <li>②植栽 0.09ha</li> </ul> </li> </ul>

10 森林にかかわる人づくりの推進

施策37—森林への関心の向上 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実績状況	評価	29年度以降の実績内容
<p>42 林業体験教室の実施</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林の持つ機能や役割について理解を広めるため、間伐材等を利用した工作物の制作や管理技術の講習会などを開催します。</p>	<p>④取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県森林組合及び千葉県北部林業事務所印旛支所の協力により、森林管理についての講習や、チェーンソーを用いた間伐体験、ヒラタケの栽培講習を実施した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①参加者数 20人</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>④取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県北部林業事務所印旛支所、千葉県森林組合などの協力により、林業体験教室を実施する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①募集人数 20人</li> </ul> </li> </ul>

施策38—森林ボランティアの育成と活動の支援 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(20) 森林ボランティア数	172人	187人	202人		187人	108.0%
主 要 事 業	28年度の取組状況			評 価	29年度以降の取組内容	
43 森林ボランティア活動の支援  ＜計画期間の取組内容＞ 森林で活動を行うボランティア団体を支援するため、技術研修や団体相互の交流機会を設けるとともに、活動状況の情報発信等を行います。	㊦特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)㊦ ・森林ボランティア活動の支援事業を継続的に行ってきたことより、さまざまな取り組みを積極的に行うボランティア団体が育ち、森林ボランティア数の増加につながった。			A	㊦課題(Cの場合)㊦	
	㊦取組状況 ・各種研修会を開催した。 ①技術研修会（2回）のべ7人 ②安全研修会（1回）28人 ・森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付した。（20円/m <sup>2</sup> 限度額200千円/団体） ①交付団体数 2団体				㊦取組内容 ・研修会、講習等で森林ボランティア活動を支援する。 ①技術研修会 ②安全研修会 ・技術研修会については開催時期と内容を見直し、参加者の確保に努める。 ・ホームページに森林ボランティア団体の活動内容を紹介し、ボランティア活動に関心の高い層の掘り起こしに努める。 ・森林ボランティア団体に対して引き続き千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付する。	

施策39—森林所有者の組織の育成と強化 主担当:農業経営支援課

主 要 事 業	28年度の取組状況	評 価	29年度以降の取組内容
44 森林組合の育成強化  ＜計画期間の取組内容＞ 森林整備の中心的担い手である森林組合の健全な運営のため、森林組合及び林業の担い手の活動を支援します。	㊦取組状況 ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成した。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成した。 ①作業班育成強化事業(作業班の設置に必要な会議開催等への助成) 54千円 ②広報宣伝事業(林業等に係る情報収集及び啓発活動への助成) 27千円 ③執行体制強化事業(林業技術員の設置に係る助成) 1,320千円	B	㊦取組内容 ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成する。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成する。 ①作業班育成強化事業 ②広報宣伝事業 ③執行体制強化事業

## 11 森林の多面的機能の活用

### 施策40－里山地区の保全 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>45 里山づくりの推進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 里山の有する多面的機能の維持増進及び景観を保全するため、企業や多様な人々の参画による保全活動を支援します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山地区4か所について森林ボランティア団体などの協力により、保全活動を行った(定例作業は月4日～5日)。</li> <li>候補地について検討したが、周辺の環境や面積、駐車場の確保等の指定要件を満たしていなかった。</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在ある里山地区について、ボランティア団体と共に維持管理に努める。</li> <li>里山への理解を深め、多くの市民が保全活動に参画できるよう、保全活動を行う団体を育成、支援する。</li> <li>里山地区の候補地について、検討する。 ①里山地区 6か所</li> </ul>

### 施策41－森林と農業の連携 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>46 農業と連携した森林機能の活用</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 森林機能の活用を図るため、里山地区周辺の観光農園などと連携し、農業とのコラボイベントに取り組みます。</p>	<p>☞特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光農園等は、各種イベントが開催されることから、早期の準備が必要である。</li> </ul> <p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山地区周辺の観光農園などと連携した取り組みとして、富田さとにわ耕園(富田都市農業交流センター)にて、「森林ボランティア技術研修会」の開催を計画したが、富田さとにわ耕園のイベントと重なったため、農政センターへ開催場所を変更して実施した。</li> </ul>	C	<p>☞課題(Cの場合)☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富田さとにわ耕園で開催予定の「森林ボランティア技術研修会」について、適切な開催時期を設定し、確実に開催する。</li> </ul> <p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富田さとにわ耕園において、「森林ボランティア技術研修会」を開催し、農業と林業との連携を図る。</li> </ul>

### 施策42－教育の森と市有林の活用 主担当:農業経営支援課

主要事業	28年度の実施状況	評価	29年度以降の実施内容
<p>47 市有林等活用事業の充実</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 森林の多面的機能を活用するため、県で認定する教育の森並びに市有林を活用し、ボランティア団体による森林整備や、交流の場の創出を促進します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おぐらの森」におけるボランティア団体の主催による秋の里山観察会・体験会の開催を支援した。 ①観察・体験会開催数 2回 ②参加人数 のべ62人</li> <li>「とみだの森」で行われたイベント「里山保全活動体験」を支援した。</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おぐらの森」などの里山地区で開催される、ボランティア団体の主催によるイベントなどについて、広報などで支援する。</li> </ul>